ふくおか筑紫フードバンク
2024 年度　事業報告書

（第 9 期：2024 年 4 月 1 日~2025 年 3 月 31 日）

目　次

1．「ふくおか筑紫フードバンク」とは 1
　（1）目的 1
　（2）仕組み 1
　（3）運営方針 1
2．2024 年度の実績 2
　（1）総括 2
　（2）寄付 3
　（3）支援実績 6
　（4）会議及び広報活動 7
3．決算 8
4．参考資料 9
　（1）ふくおか筑紫フードバンク運営委員会 9

1.「ふくおか筑紫フードバンク」とは

（1）目的

核家族化が進行し、共働きや１人親家庭の増加に伴い、親子で過ごす時間の減少や孤食の増加、多様な人との交流・子どもの体験・心の貧困が課題となっています。

私達は、その課題を解決するため子ども達が誰でも参加でき、地域の見守りの中で温かい食事、遊び、学び等の体験ができる居場所「こども食堂」を地域にたくさんつくる応援をしています。

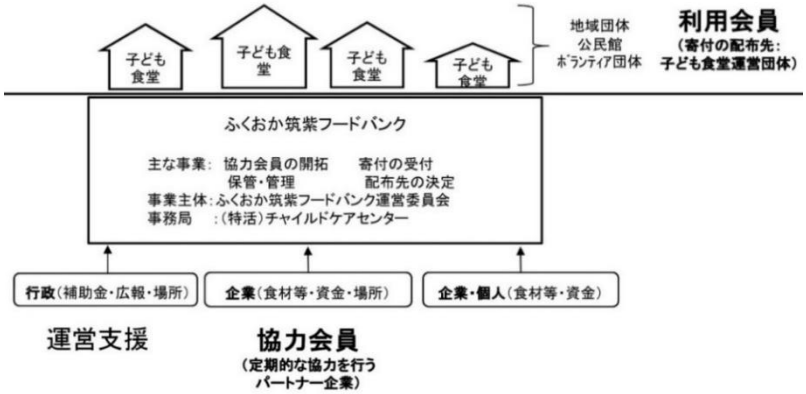
（2）仕組み

寄付は、企業・個人の他、定期的な寄付を頂く企業を「協力会員」としています。

「子ども対象の食育講座」や「社員の方のボランティア」の受入もコーディネートします。

食材の提供先のこども食堂を「利用会員」として「企業・個人から寄付で頂いた食品」と利用会員連絡会議を通じ「食中毒の防止や衛生管理及びこども食堂の運営の情報」も届けています。

運営主体はふくおか筑紫フードバンク運営委員会、実施主体事務局は（特定非営利活動法人）チャイルドケアセンター（以下、チャイルドケアセンター）です。



（3）運営方針

ふくおか筑紫フードバンクは、こども食堂支援に特化して次の運営方針を掲げて活動しています。

・支援範囲は、筑紫地区（大野城、春日、太宰府、筑紫野、那珂川）のこども食堂を中心に子どもの居場所等の活動としています。

・こども食堂向けには、ごはんとお味噌汁を基本メニューにした食材を受け入れます。

・フードパントリー向けには、保管しやすい加工食品・飲料・菓子などを受け入れます。

・食品ロスの他、企業の方に必要食材の現物寄付をお願いします。

表1：寄贈を受付している食品など（事務局及び保管場所に持込または郵送をお願いします）

分類	食品	備考
A)常温で保存可能なもの	・味噌、醤油、だしなどの調味料 ・のり、ふりかけ　・レトルト食品 ・飲料　・お菓子　・カレー粉	・賞味期限・消費期限が明記されかつ賞味期限１ヶ月以上ある ・未開封であること。
B)冷凍保存が可能なもの	・肉（業務用冷凍庫あります）	
C)冷暗所で保管可能な野菜など	・じゃがいも、ニンジン、玉ねぎ、ゴボウ、大根、米など	野菜は、事務局に直接持参可能な近隣の方のみ受付
D)食品衛生用の消耗品	・洗剤、消毒液、ビニール手袋、保存袋等の調理時の衛生・保存品	

2. 2024 年度の実績

（1）総括

食品寄付量はほぼ昨年度同様の規模となりました。

子ども食堂を開催する利用会員が増えてきましたが、月 1 回開催のフードパントリーは開催する利用会員、取扱量及び開催回数など、ほぼ横ばいとなり固定化してきました。

財源は、昨年度と比較して補助金などがなく 300 万円縮小しましたが、赤字の 270 万円も事業効率化を図り 80 万円まで縮小し事業のバランスがとれてきました。

① 食材の寄付の受付と配布

こども食堂の食材支援とフードパントリー事業を行いました。

② 食材の保管・管理のルールの充実と定着

食品の温度、賞味・消費期限などの管理を徹底しています。

③ 利用団体連絡会議の開催

令和７年２月７日（金）福岡県フードバンク協議会と共催でフードバンクフォーラムを開催し、食品の衛生管理に関する学習会を行いました。

④ 運営委員会の開催

令和７年３月１４日（金）に開催しました。

表：主な寄付及び活動実績

項目	2022 年度	2023 年度	2024 年度
食材の寄付（kg）	65,852	86,738	89,311
食品ロス（kg）	37,692	53,201	53,195
＊食材寄付の規模（円）	39,510,937	52,042,800	53,586,318
協力会員数（社）	29	39	39
利用会員数	74	84	91
こども食堂 延参加者人数	7,178 （181 回実施）	13,605 （272 回実施）	18,209 （240 回実施）
フードパントリー 延配布世帯数	30,332 （537 回実施）	23,975 （395 回実施）	24,146 （389 回実施）
決算	7,282,328	8,778,383	5,799,165

＊食材寄付の規模：全国のフードバンクが基準として採用する寄付取扱量 600 円/kg で換算。

（２)寄付

①寄付の内訳

こども食堂の参加人数が増え、調理可能な食材（米・めん・パン、野菜、肉、調味料等）の寄付量が増えました。菓子類、缶詰、衛生用品等の日用品が減少していますが、フードパントリー用の食品（飲料、調味料、レトルト等）昨年に引き続き多い状況でした。

フィードドライブは、企業を中心とする協力会員等の協力があり寄付量が増えています。

表：2024 年度　寄付実績（kg）

品目	2022 年度	2023 年度	2024 年度
米・めん・パン	8,301	7,828	11,507
肉	58	140	905
野菜	1,830	2,357	2,979
菓子	2,938	6,450	970
調味料	15,180	21,446	18,183
飲料	16,573	13,905	21,448
缶詰	2,165	293	65
冷凍食品	1,785	4,409	2,844
その他	414	5,594	5,621
日用品	4,248	5,307	2,811
＊フードドライブ	12,360	19,010	21,978
合計	65,852	86,738	89,311

＊フードドライブは、調味料、菓子、レトルト食品など食品が少量多品種のため、
総重量を量り、賞味期限などを確認して整理しています。
食品別に区別して、重量を量ることは行っていません。

②寄付先;協力会員

定期的な寄付を頂く企業及び団体は、協力会員としてご協力を頂いています。

表：2024 年度協力会員の一覧

NO	企業等の名称	協力内容			
		食材	保管場所	資金	その他
1	非公開	鶏肉			
2	非公開	味噌、だし			
3	非公開	菓子等			
4	西松建設　株式会社	ー	○	○	電気代
5	有限会社　クリーンみかさ	加工品			
6	なかがわ市場　うしじま	鶏肉			
7	ＪＡ筑紫　山田支店	野菜			
8	エフコープ生活協同組合	米	○	○	
9	五洋食品産業　株式会社	冷凍ケーキ			
10	井口食品　株式会社	のりなど			
11	みやこハム株式会社	豚肉			
12	有限会社　たかのフーズ				
13	京食品　株式会社	冷凍卵			
14	株式会社　中陽	お菓子			
15	コカ・コーラ　ボトラーズジャパン㈱	飲料			
16	有限会社　一蘭	豚肉			
17	株式会社久原本家グループ本社	調味料			
18	株式会社ピエトロ	パスタなど加工品			
19	全農チキンフーズ㈱	鶏肉			
20	生長の家　白鳩会　福岡教区連合会				
21	株式会社ちくしの郷・匠	加工食品			
22	有限会社卓伸（コッペリア）	野菜			
23	悠悠ホーム株式会社	玄米			
24	非公開	菓子など			
25	非公開	豚肉ミンチ			
26	株式会社ニシダ	マスク・手指消毒			
27	トレベジ筑紫野店	野菜			
28	株式会社 SS プランニング	パン			
29	株式会社 cieloazul	金銭的支援		○	
30	戸田建設株式会社九州支店	フードドライブ			
31	熊本森永乳業株式会社	災害備蓄品			

32	株式会社ミスターマックス・ホールディングス	フードドライブ			
33	中央福岡ヤクルト販売株式会社	金銭的支援		○	
34	雪印メグミルク株式会社九州統括支店	乳製品他			
35	㈱マルキョウ	食品			
36	アイリー倶楽部	フードドライブ			
37	株式会社 DO 不動産	金銭的支援		○	
38	株式会社ニチレイフーズ	冷凍食品			
39	明治安田生命保険相互会社	検品・回収等協力			○

③ 寄付先:フードドライブ協力企業及び団体

家庭で余っている食品を集めて寄付を頂いた企業及び団体は多数となり、フードドライブで受け取った食材は、食品ロスとして計上しています。

写真：月１パントリーの様子

（３）支援実績

① こども食堂の支援実績

・こども食堂は全利用会員 91 団体のうち 48 団体が実施しました。子ども食堂を開催する利用団体がコロナ禍以降増え、約半数となりました。

・開催回数は減っていますが、参加者数は順調に増えており子ども食堂 1 回あたり参加者数が 2023 年度は 50 名/回、2024 年度は約 76 名となり大規模化してきています。密になるのを避けながら人数等を制限する傾向が薄れてきています。

表：2024 年度　こども食堂の開催実績

自治体名	利用会員数	こども食堂開催利用会員数	こども食堂開催回数	参加者数			
				子ども	大人	ボランティア	計
大野城市	51	26	125	3,821	2,164	1,135	7,120
太宰府市	10	5	33	1,404	1,283	609	3,296
春日市	12	6	24	1,629	788	452	2,869
筑紫野市	12	6	43	1,461	1,718	424	3,603
那珂川市	6	5	15	579	547	195	1,321
24 年度計	**91**	**48**	**240**	**8,894**	**6,500**	**2,815**	**18,209**
23 年度計	84	39	272	6,801	4,831	1,973	13,605

② フードパントリー事業の支援実績

・フードパントリーは、全利用会員 91 団体のうち 47 団体が実施しました。

・コロナ禍で増えたパントリーは実施団体及び配布世帯数等も横ばいとなりました。

表：2024 年度　パントリー配布実績

自治体名	利用会員数	パントリー実施会員数	パントリー実施回数	延べ配布世帯数
大野城市	51	27	204	12,106
太宰府市	10	5	51	4,397
春日市	12	3	23	1,428
筑紫野市	12	8	80	6,215
那珂川市	6	4	31	0
24 年度計	91	47	389	24,146
23 年度計	84	49	395	23,975

（４)会議及び広報活動

① 利用会員連絡会議

日時	参加者	内　容
日程：令和７年２月７日（金） 場所：大野城市まどかぴあ	111 名	令和６年度農林水産省フードバンク活動支援事業としてフードバンクフォーラムとして開催。 第一部：みんなで支えるフードバンクの取り組み 第二部：衛生管理学習会を実施

写真：フードバンクフォーラムの様子

② テレビ、新聞の掲載

日　程	媒　体	内　容
11 月９日	・ケーブルステーション福岡 ・TNC ・RKB	西日本シティ銀行フードドライブ寄贈式
1 月 24 日	西日本新聞朝刊	２月７日フードバンクフォーラムのお知らせ
3 月 16 日	西日本新聞	福岡のフードバンク利用者の現状を伝える記事の一部掲載

3. 決算

昨年度は、約 270 万円の赤字となりました。今年度は各経費の節約の他、運営の効率化を図り事務費を削減することにより赤字を約 80 万円まで圧縮しました。

しかしながら現状の事業規模を維持するにはこれ以上の削減は難しく、これまで利用会員は無料として運営してきましたが、運営継続のため次年度は利用会員に利用料などの負担をお願いすることで収支のさらなる改善を行う予定です。

表：2024 年度の決算 **単位：円**

勘定科目	内訳	決算	チャイケア負担分
<収入>			
1　利用寄付収入	・子ども食堂に対する寄付	0	
2　運営寄付収入	・ふくおか筑紫フードバンクの運営に対する寄付	8,853	
3　補助金収入	・助成団体及び公的機関から得る補助金	0	
4　助成金収入	・助成団体及び公的機関から得る助成金	4,969,932	
5　その他収入	・受取利息、チャイケア負担分	820,380	818,349
収入合計		5,799,165	
<支出>			
1　食材購入費	・こども食堂に提供する食材等の購入費	0	
2　会場費	・運営に必要な会議のための会場費	16,670	
3　消耗品費	・事務用消耗品費、１０万円未満の備品消耗品等	151,919	
4　印刷費	・各種資料等の印刷・コピー代	29,000	
5　旅費交通費	・旅費及び交通、ガソリン代、レンタカー代	63,616	
6　通信費	・切手代、電話代	95,181	
7　ＨＰ維持費	・HPの更新・管理費	11,000	
8　外注費	・パンフレット、マニュアルの制作費	355,910	
9　事務費	・１～8を行うための事務作業費	2,550,525	
10　会議費	・運営委員会等の会議費	6,966	
11　備品購入費	・冷蔵庫、冷凍庫などの購入費	0	
12　諸会費	・一般社団法人福岡県フードバンク協議会　正会員	15,000	
13　地代家賃	・食品受取・一時保管利用分（事務所家賃）	1,814,000	
14　報酬謝金	・ボランティア	0	
15　雑費	・1～１０以外の費用（支払手数料）	689,378	
支出合計		5,799,165	
収支合計		0	

内訳）２運営寄付　　エフコープ生活協同組合（自動販売機の売上）8,853 円

４助成金　　福岡県フードバンク協議会　4,600,000 円

マイファーム　369,932 円

４. 参考資料

（１)ふくおか筑紫フードバンク運営委員会

【規約より抜粋】

（名称）

第１条　本会は、「ふくおか筑紫フードバンク」運営委員会（以下「運営委員会」という。）と称する。

（目的）

第２条　子どもの健全育成・貧困・居場所等に伴う課題を解決する「子ども食堂」の継続的な運営の支援を行うため、個人や企業からの寄贈された食材等を一括して受入れ・管理し、子ども食堂に分配する「ふくおか筑紫フードバンク」の適正な管理運営に関して協議及び決定を行い、社会的な信頼性の高い事業とすること目的とする。

（事業）

第３条　運営委員会は、前条の目的を達成するため次の「ふくおか筑紫フードバンク」事業を行う。

（１）寄贈・保管先の開拓

（２）　寄贈された食材等の受入れ

（３）寄贈された食材等の保管・管理

（４）寄贈された食材等の子ども食堂への分配

（５）その他目的達成に必要な事項に関すること

【ふくおか筑紫フードバンク運営委員会　名簿】

NO	氏名	所属	備考
1	熊手　艶子	税理士法人くまで会計事務所　代表社員	財務・法律の専門家
2	多田　哲	西松建設(株)　九州支社　現場工務革新センター　グループ１　グループ長	協力企業　代表
3	安川　眞澄	おおりこども食堂　代表	こども食堂　代表
4	安河内　憲明	株式会社大熊建設　顧問（元　筑紫農業協同組合）	―
5	松川　政満	元　西松建設（株）九州支社副支社長	ふくおか筑紫フードバンク運営委員長

事務局： チャイルドケアセンター　／　**運営支援：** 大野城市　こども若者政策課